

地域の皆さまと病院をつなぐ

ごろまるだより

総合犬山中央病院広報誌 GOROMARU dayori

ごろまる医療のチカラ

患者さんの望む医療やケアの 実現につながるACPの取り組み ACP推進チーム

- ・台湾医療バランスト・スコアカード学会で優秀賞を受賞しました！
- ・令和7年度住民健診が始まりました。（犬山市・大口町・扶桑町）
- ・食中毒にご注意ください！ー感染対策よりー
- ・夏をノリ切るさっぱりレシピー栄養科よりー

Photo : 新人看護研修 2025.4.21



Vol.
136
2025
summer

ごろまるだより 2025
summer

Vol.
136

季刊 4 回発行 2025 年 8 月 1 日発行 通巻 136 号 編集・発行人 社会医療法人 志聖会 総合犬山中央病院 〒484-8511 愛知県犬山市大字五郎丸字二タ子塚 6 TEL 0568-62-8111



栄養科より 夏をノリ切るさっぱりレシピ



鶏むね肉と彩野菜のバジルソースマリネ

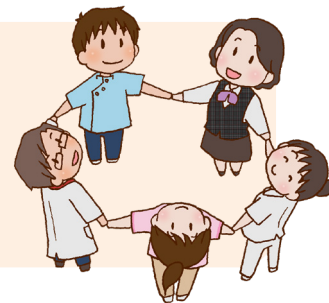
- 材料(2人分)
 - ・鶏むね肉…1枚(約250g) ・パプリカ(赤・黄)…各1/4個 ・ズッキーニ…1/3本
 - ・塩…少々 ・酒…大さじ1
 - <バジルマリネ液>
 - ・オリーブオイル…大さじ2 ・レモン汁…大さじ1
 - ・バジル(乾燥でも可)…小さじ1 ・砂糖…ひとつまみ ・塩こしょう…各少々

●作り方

- ①鶏むね肉はフォークで穴をあけて、塩少々と酒をふり、ラップして電子レンジ(600W)で3～4分加熱し、粗熱が取れたら食べやすく裂く。
- ②パプリカとズッキーニは薄切りにし、さっと茹でて冷水にとり、水気を切る。
- ③ボウルにマリネ液の材料を全て混ぜる。
- ④鶏肉と野菜にマリネ液を加えて、冷蔵庫で15分ほどなじませたら完成

NST(栄養サポートチーム)をご存知ですか？

栄養管理は全ての治療上で共通する基本的医療の1つです。この栄養管理を医師、看護師、薬剤師、管理栄養士をはじめ職種のを越えて実践するチーム医療をNSTと言います。栄養状態が悪いと回復が遅くなり入院期間が長くなってしまいます。NSTは患者さんの栄養状態が良くなり、早く元気になる事をサポートいたします。



集まれ未来の医療従事者「病院のお仕事体験」vol.3を開催

院内行事



病院のお仕事体験 vol.3

8月21日(木)に、「集まれ！未来の医療従事者」お仕事体験イベント vol.3を開催します！病院で働く多彩な職業を体験できるチャンス！医療現場の仕事を体感できます。貴重な学びと発見がいっぱい！参加無料！医療を体験しよう！

場 所:総合犬山中央病院 〒484-8511愛知県犬山市大字五郎丸字二タ子塚6

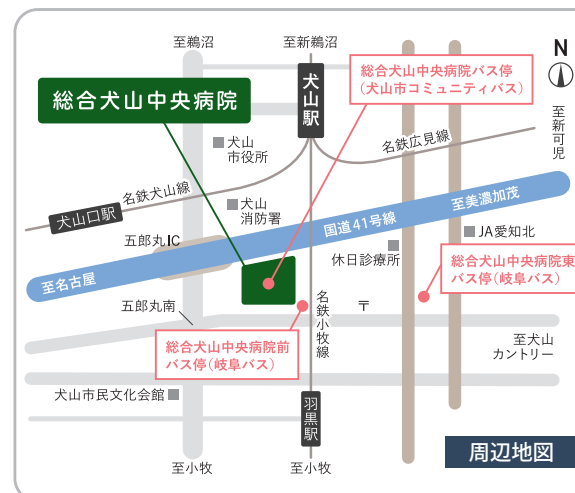
対 象:犬山市・扶桑町・大口町在住の中学生

申込み:当院HPより申込みフォームに必要事項をご入力ください。

※詳しくは当院ホームページをご覧ください。

※予定は変更となる場合がございます。

申込みはこちらから↑



社会医療法人 志聖会

総合犬山中央病院

〒484-8511
愛知県犬山市大字五郎丸字二タ子塚6
TEL.0568-62-8111 (代)
HP <https://www.inuyamachuohospital.or.jp/>



外来受付時間 8:00～11:00
休診日:日曜・祝日
面会時間 月曜～金曜 15:00～20:00
土曜・日曜・祝日 13:00～20:00
救急は24時間365日受け付けています。

総合犬山中央病院
理念

地域の人々が安心して暮らせる
心の支えとなる病院を目指します。



総合犬山中央病院
@inuyamachuogeneralhospital



総合犬山中央病院チャンネル
@inuyamachuohospital-pr

ACP 推進チーム

患者さんの望む医療やケアの 実現につながるACPの取り組み



総合犬山中央病院では、2024年11月より人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)に取り組み始めました。今回は、ACP推進チームの皆さんに、その内容や今後の展望について伺いました。

写真前段左より川尻ひとみ(6階部長)、鬼頭すみそ(顧問)、宮村耕一(副院長兼血液内科部長)、北畑博史(入退院支援課副主任)
写真後段左より倉本真紀(外来主任)、三浦愛(医療安全課長)、箕浦恵(入退院支援課員)、小林陽子(医事課員)

自分らしく生きることを
支える仕組み「ACP」

— ACPとはどんなものですか？

宮村 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、患者さんが将来の医療やケアについて事前に意思を表明し、家族や医療者と共有するプロセスのことで、人生会議とも呼ばれます。自分らしく生きることを支えるための重要な取り組みです。当院では「犬山市民の一生を豊かなものにする」という大方針を定めており、人生の終末期において一人ひとりの望む医療・ケアの選択を支援するために、昨年よりACPを導入しました。

鬼頭 取り組みを始めるにあたって、まずは職員の皆さんに理解していただく必要があると考え、ACPに関する指針とACPに至るまでのプロセスを示したフローシートを作成しましたね。

倉本 ほかに、ACPダイナミックテンプレートも作成しました。こ

れは、患者さんの想いをカルテに記録するシステムで、その内容を外来

から病棟へ、退院後は病棟から地域へつなぐためのものでもあります。

医師から治療などの説明をしたあとに、患者さんに「先生のお話を聞いてどう思われましたか？」というお声がけをして想いを伝えていただくようにしており、その内容を記録しています。

三浦 テンプレートに記録した内容はカンファレンスで共有され、その先では在宅・訪問看護の施設や移られた病院に共有する努力をしています。地域へ「つなぐ」ということもACPで大事なことのひとつですね。

患者さんの意思を大事にする
「ACP」を医療の中心に

—それぞれの部署において、どのように取り組んでいますか？

川尻 私は、一般病棟で患者さんのお話を伺っているのですが、ACPを行う上で一番大事なのは信頼関係だと感じています。こういったお話は患者さんとコミュニケーションをとって信頼関係を築いた上でやっとできるものだと思うからです。日々接する中で患者さんの何気ない一言からお話を広げて想いを伺うなど、本音を聞き逃さないという意識をしています。

鬼頭 医療は患者さんご本人による決定を基本にすることが重要ですので、ご本人の人生観や価値観などを把握して医療やケアに活かしていくことが非常に大切ですね。

北畑 私の所属する地域連携支援センターでは犬山市との連携を図っており、当院のACPの取り組みを市に伝えたり、市で作成された

エンディングノートを当院で将来的に活用したいと考えています。また、患者さんが入院される際に、ACPに関するリーフレットを使って啓蒙を図っています。

箕浦 ただ、入院が決まった方の中には、手術予定の方やがんの告知直後の方もいらっしゃる、ご本人やご家族が動揺されている場合もありますので、その場合は資料をお渡しするだけにしています。患者さんに寄り添うことを第一に、周知を進めていきたいですね。

小林 私はACP推進チームの事務局として携わっています。ゼロからの取り組みですが、チームの皆さんは熱量のある方ばかりで、会議では意見を出し合いながらいろんなことを決めてここまで来られました。これからさらに周知を進めて、地域につなげていきたいです。

倉本 私は新人看護研修でACPや緩和ケアの研修を担当しており、自分の大切なものや生き方について考える「もしバナゲーム」を取り

入れています。ACPについて理解を深めるよい機会になっているといいなと思います。また、江南厚生病院が愛知県から委託を受けて行われた「あいちACPプロジェクト」の動画を活用した研修を行い、当院では300名以上の職員が受講しました。ACPや意思決定支援の知識を深める貴重な機会となりました。

— ACPの重要性についてお聞かせください

川尻 特に高齢の方や認知症の方は意思表示ができないことが多く、最期はどうするかを決めようと



自分が余命半年だと仮定して、自分にとって大切なものが何なのかを考えることのできる「もしバナゲーム」を、新人看護研修などに導入しています。(もしバナゲームは一般の方も購入可)

ACPとは

もしものときに備えて、あなたが望む医療やケア、大切にしたいことをあらかじめ考え、家族や信頼できる友人、医療や介護の専門家など周りの人々と、あなたの希望について話し合うことをいいます。その目的は、尊厳ある生き方を実現すること。ACPは前向きにこれからの生き方を考える仕組みでもあります。大事なのは、意思を明らかにできるときから繰り返し話し合いを行い、その意思を共有すること。会話をしながら、あなたの希望を周りの人に伝えることから始めてみませんか？



ACP Q&A：知っておきたい未来の準備

どんなときに人生会議をするの？

たとえば、突然のケガや病気によって言葉で想いを伝えられなくなるといったように、自分の望む医療およびケアについて、その意思を確認できなくなるときがいつ訪れるのかを予測するのは困難です。意思を伝えられるときに人生会議を実施しましょう。また、想いはその時々で変わるので、何度でも繰り返し話し合いましょう。

どんな人と会議をするの？

自分の想いを伝えたい、信頼できる人と会議を行います。具体的には、家族・親族や友人、かかりつけ医や訪問看護師、ケアマネージャーなど、あなたの暮らしに深く関わっている人です。医療・ケアに関する内容はもちろんのこと、これまで周囲の人に伝えてこなかったことや、聞いておいてほしいことなどを話せる人を選びましょう。

人生会議ではどんなことを話すの？

自分の暮らしや健康のこと、「どのように生きたい」「最期はどのように過ごしたい」といった人生観や価値観、希望などの大切にしたいこと、「可能な限り生命を維持したい」「痛みや苦しみを少しでも和らげたい」といった医療およびケアの希望についてなどです。今後の人生をどのようにしたいのかを話し合いの中で決めていきます。

人生会議で話したことは どんなときに役立つの？

話し合った内容を書面に残しておく、万が一意思表示できなくなったときも、周りの人々はあなたの想いや希望を尊重して最善の選択をすることができます。また、家族などがあなたに代わって選択をする際の心の負担を減らすことにもつながります。

ACP人生会議リーフレット・エンディングノート

人生会議 紹介リーフレット「届け！私の想い」

「人生会議」についての目的や理解を深めるリーフレットで、将来の医療やケアの希望を大切な人と話し合う取り組みを紹介しています。

「いぬやまエンディングノート」

エンディングノートとは、これまでの人生を振り返り、あなたに関する情報や要望・希望をわかりやすくまとめておくことで、これからの人生を考える“きっかけ作り”にするものです。

いぬやまエンディングノートは高齢者あんしん相談センター、犬山市役所高齢者支援課で無料配布中。



いうときに、ご本人がどうしたいのかを伝えられないというケースがよくあります。そういった場合にはご家族の方から聞き取ることになりますが、それが今の本人の希望とは違う可能性もあります。そういうことが起こらないようにするためにも、元気なうちから自分がどうしたいのかを考えて、伝えて、記録に残していただくことが大切です。

鬼頭 川尻さんがおっしゃったように、早い時期に意思決定いただけていると、医療者側はとても助かりますし、患者さん側は理想の終末を叶えられるのではないかと思います。

川尻 そうですよ。ね。「死」の話は世間一般的にタブーなので、普段はそういうお話はあまりしないという方が多いのですが、どんな最期を迎えたいのかを普段から話し合うことを意識してほしいなと思います。

倉本 お正月やお盆などみんなが集まるときに、年に一回はそういう話をして意思決定を確認するのもいいですね。私は救急にも携わって

いるのですが、今まで元気だった方が急に話せなくなる状況に直面し、「そういった意思表示に関する話を全くしていなかった」と動揺されるご家族を多く見てきました。患者さんご本人ではなく、ご家族が判断を迫られる場合、その重荷はとても大きいものです。ご本人に代わってご家族が落ち着いて判断できるようにするために、普段から話し合いの機会を大切にしてほしいですね。

鬼頭 身体や気持ちの変化も常にあるので、繰り返し話し合うことも大切です。ぜひご家族で機会を設けてみてほしいですね。



くわばらクリニックの桑原院長先生と地域連携のACP活動を語る

患者さんの想いを伺う機会を大切にしていきたい

—今後の目標や展望についてお聞かせください—

宮村 患者さんそれぞれの状況によって、ACPに対しての考え方は大きく異なります。ですので、踏み込んで実践していくというよりは、院内にポスターを掲示したり病院案内と一緒にリーフレットをお渡ししたりしながら周知を進め、地道に取り組んでいけたらと考えています。

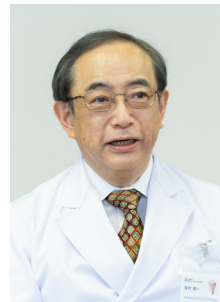
川尻 そうですね。あとは、患者さんと接する機会を大事にしていきたいです。たとえば医師が治療などについて患者さんに説明する際に、地域連携支援センターの方が同席してくださることが多いですね。想いを伺うきっかけのひとつになっているのではないのでしょうか。

倉本 リハビリのスタッフは、患者さんと一対一で長い時間を接している、その中で患者さんの想いを伺う機会もあります。そういつ

Dr. profile

みやむら こういち

1983年名古屋大学医学部卒業。名古屋第一赤十字病院で研修、名古屋大学、米国立衛生研究所(NIH)を経て、東北大学医学部助教授、名古屋第一赤十字病院副院長を経て、2021年4月総合犬山中央病院に着任(現、副院長兼血液内科部長)。免疫細胞治療の研究(NHK「きょうの健康」で日本初の再生医療等製品を紹介)や白血病患者さんの生涯フォロー体制の確立など、幅広く患者さんの総合的な健康管理に力を尽くす。



た、患者さんとのコミュニケーションの時間を活かしていければと思います。

鬼頭 当院ではチーム医療を行っていますので、職員がそれぞれの持ち場で患者さんの情報を把握しています。医師や看護師だけでなく、コメディカルや療法士、薬剤師など、それぞれが記録に残し、共有していますので、そこに患者さんの想いのヒントが多々あります。職員全員がそういう意識を持って治療やケアに当たることができればいいですね。



健康管理センターからのお知らせ

令和7年度住民健診が始まりました。(犬山市・大口町・扶桑町)

ワクチン接種(月～土)も健康管理センターへ！

- ☑ 带状疱疹 ☑ 肺炎球菌 ☑ おたふくかぜ ☑ MR ☑ 麻疹
- ☑ 風疹 ☑ 水痘 ☑ 狂犬病 ☑ ジフテリア ☑ コロナ

その他の予防接種については、お問い合わせください。
(海外渡航や学校提出のための接種も対応します。) ※健診と同日も可能です。

禁煙についての
ご相談も承ります。



「これって更年期？」

健診の機会に、
ご自身の身体を
もっと知りませんか？

骨密度検査(超音波法)も
オススメです。(1,980円)

更年期健診

基本コース: **5,500円**(税込)
婦人科検診(子宮頸がん検診、超音波)
女性ホルモン検査(血液検査)

甲状腺追加コース: **9,900円**(税込)
婦人科検診(子宮頸がん検診、超音波)
女性ホルモン検査+甲状腺検査(血液検査)

男性更年期コース: **4,500円**(税込)
男性ホルモン検査(血液検査)

※子宮頸がん検診 月～木
女性医師対応(金・土:男性医師)

※単独検査も可能です。

ホームページにも詳細が記載されています。お問い合わせをお待ちしております。

【ご予約・お問い合わせ】総合犬山中央病院 健康管理センター
直通(0568)-62-8246 代表(0568)-62-8111



知って得する感染対策



食中毒にご注意ください！

昨年の冬はノロウイルス集団感染が例年より多く聞かれましたね。気温が低い11月から3月頃は、ノロやロタといったウイルス性食中毒が主流ですが、気温と湿度が高くなる6月頃からは細菌性食中毒が流行しやすいといわれています。家庭で食中毒を防ぐためには、原因となる細菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」を徹底すること。その具体的な6つのポイントに注意しましょう。

Point 01
食品の購入

Point 02
家庭での保存

Point 03
下準備

Point 04
調理

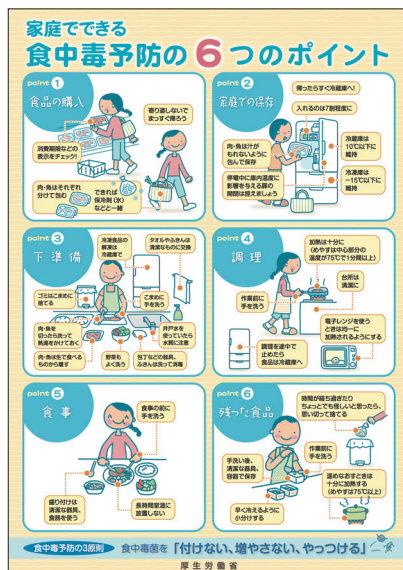
Point 05
食事

Point 06
残った食品

youtubeでも
配信しています



出典:厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/01_00008.html



地域連携支援センターからのお知らせ

台湾医療バランスト・スコアカード学会で優秀賞を受賞しました！

2025年5月24日(土)、台湾の台中市で開催された国際学会「台湾医療バランスト・スコアカード学会」に参加し、ポスター発表で地域連携支援センターが優秀賞を受賞しました！

この学会は、医療業界が直面する様々な課題、例えば少子高齢化や医療費の増加といった問題にどう対応していくかというテーマで、世界中から多くの専門家が集まり、活発な議論が行われました。



【会場の衛生福利部 台中病院】

今回「総合犬山中央病院地域連携支援センターにおけるバランスト・スコアカード(BSC)を用いた戦略経営の実践」というテーマでポスター発表を行いました。BSCとは、顧客の視点を含む4つの視点から業務や成果を評価していくためのフレームワークです。

地域連携支援センターではこのBSCを導入し、『この地域で選ばれる地域連携支援センターになる！』という目標を掲げ、様々な活動に取り組んでいます。具体的には、地域の医療機関との連携強化や、患者さんにとってより良いサービス提供のための体制づくりなどを推進しています。また、昨年度は退院支援に関して患者さんへの満足度アンケートを実施し、多くのご意見をいただきました。それらを基に、今後も継続して業務の見直しを行い、日ごろの支援をより充実したものにしていきたいと考えています。

今回の発表では、BSCを活用した具体的な取り組みや成果、そして今後の展望について詳しく紹介しました。多くの参加者から質問や意見をいただき、学術的にも非常に刺激的で有意義な時間となりました。その結果、学会内で優秀賞を受賞することができました。



このような栄誉をいただけたのも、日頃からご協力いただいている地域の皆様や関係者の皆様の温かい支えがあったからこそです。心より感謝申し上げます。

今回の受賞を大きな励みとして、これからも地域医療のさらなる向上に貢献できるよう、BSCを活用した取り組みを一層深めていきたいと考えています。職員一同、より一層努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【相談窓口のご案内】

相談窓口では、患者さんやご家族の入院及び生活に関する不安等、様々な相談をお伺いする窓口です。退院支援看護師、社会福祉士等が対応します。お気軽にお越しください。

◎相談窓口：本館2階 地域連携支援センター内

◎相談時間：月曜日～金曜日 8:30～17:00 土曜日 8:30～13:00 日祝年末年始を除く

◎連絡先：0568-62-8200